

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称		子宮頸癌 Tisotumab Vedotin療法					臨床区分		抗癌剤適応分類		登録日		2025年7月2日					
疾患名		子宮頸癌					<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験		<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他		1クール期間		21日					
診療科名		婦人科									実施回数		/回					
登録医師名		今福 紀章																
適用		がん化学療法後に増悪した進行再発の子宮頸癌																
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
1	5%糖液	250	mL	点滴静注	メイン		day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 1) 投与前に目の異常がないことを確認すること 2) ステロイド点眼、血管収縮点眼、ドライアイ点眼の3種類が処方されていることを確認すること	
							●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
2	グラニセトロン点滴静注液1mg/バック	1	瓶	点滴静注	メイン	15min											1) 投与後ブドウ糖液でフラッシュすること 2) 制吐剤終了後、血管収縮点眼を行うこと 3) テブダック投与5分前から冷却バックで両目の冷却を開始し、投与終了後30分後まで継続すること	
	デキサート注射液 6.6mg	1	管				●											
3	5%糖液	50~100	mL	点滴静注	側管	30min											1) テブダック投与前にブドウ糖液でフラッシュ 2) インラインフィルターを使用すること 3) 調製後25℃以下で4時間または2~8℃で24時間以内に投与を完了すること 4) テブダック1Vあたり4m l の注射用水で溶解すること 5) 75mg/body以下の場合には、0.7mg/mLとなるように希釈液量を変更すること 6) 投与後も30分間冷却バックで両目の冷却を継続すること	
	テブダック点滴静注40mg	2	mg/kg				●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
	注射用水	適量	mL				●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—

備考欄

本レジメンの適用前に眼科の診察があったことを確認すること。  
また点眼剤として副腎皮質ステロイド点眼(例:フルメトロン)、血管収縮点眼(例:プリモニジン)、ドライアイ治療用点眼(例:ジクアス)の3種類が処方されているか確認すること。  
最終投与30日後までコンタクトレンズの装着は避けること  
濃度規定有り！減量時には希釈後の濃度に注意すること((※0.7~2.4mg/mL)

文献

Tisotumab Vedotin as Second- or Third-Line Therapy for Recurrent Cervical Cancer

減量・中止基準	
通常投与量	2 mg/kg (最大200mg/body)
1段階減量	1.3 mg/kg (最大130mg/body)
2段階減量	0.9mg/kg (最大90mg/body)
3段階減量	投与中止

基準に関しては添付文書参照